

日本文藝研究

第六十四巻 第二号

『美濃の家づと』受容史	田中康二	1
麗女と馬琴	雲岡梓	47
——歴史物語『池の藻屑』をめぐる——		
藤木九三小論	北田雄一	61
——「冒険登山」から「スポーツ登山」へ——		
「老上海」内山完造と「支那通」		
後藤朝太郎の中国認識	呂慧君	77
少年詩人が見た戦争	大橋毅彦	97
——木原孝一『戦争の中の建設』からの出発——（上）		
翻刻資料		
龍草廬『真字古今集をあげつろひし詞』の翻刻	雲岡梓	117

前 号 目 次

『古今集遠鏡』受容史 田 中 康 二... 1

林芙美子の「満州」体験 曾 婷 婷... 45

——紀行文「凍れる大地」を中心に——

遠藤周作『深い河』論 古 浦 修 子... 69

——魂のドラマを開示させる〈場〉としての

「河」と「ほとり」——

編集後記

▼第六十四巻第二号をお届けする。▼論考は五篇、翻刻資料一篇である。前号に続き、今回も本学大学院にご出講いただいている神戸大学大学院の田中康二先生にご寄稿をいただいた。前回にも増した庄巻のご玉稿に心より感謝である。▼前号で関西学院大学日本文学会の歴史は、七十年を迎えたとした。本誌六十四年の発刊との差異六年は、太平洋戦争による教員・男子学生全員の出征という空白期間による。会員の皆様には詳しくは『会報十二号』巻頭言をお読みいただきたい。▼我々は常に平和を祈りながら、昔に比して、恵まれた環境の中で研鑽を続けられる喜びを覚えなければならない。（森田）

投稿・執筆について

- 一、執筆資格をもつものは、日本文学会会員、『日本文藝研究』購読会員の他、編集委員会が認めたものとする。
- 二、原稿内容は日本文学および日本語を主な対象とし、未公刊のものにかぎる。
- 三、研究論文は四百字詰め原稿用紙換算で三十五枚を目安とする。研究論文以外の原稿については編集委員会に問い合わせること。
- 四、投稿は随時受け付ける。
- 五、原稿の採否は、編集委員会が決定する。
- 六、本誌に掲載された論文などの著作権は著者に帰属するものとする。ただし、関西学院大学日本文学会は、本誌に掲載された原稿を電子化または複製の形態などで公開する権利を有するものとする。

二〇〇二年十月

関西学院大学日本文学会

二〇一三年三月五日 印刷

二〇一三年三月十日 発行

定価八〇〇円

日本文藝研究 第六十四巻第二号

〒六六二八五〇一

西宮市上ヶ原一番町

関西学院大学日本文学会

(〇七九八)五四一六二八(直通)

編集兼 発行者 細川正義

発行所 日本文学会

〒六一五〇〇五五 京都市右京区西院清水町二三

印刷所 協和印刷株式会社

TEL (〇七五)三二一四〇一一

FAX (〇七五)三二一四〇一一

注文規定

御注文は前金にて関西学院大学日本文学会へ御願いたします。振替を御利用ください。（振替〇二五〇一七六〇五八五

一年分（送料共）三、〇〇〇円